

# 伊高生、頑張っています!

20

## 課題解決 アイデア競う 県民交流センター



研究成果をポスターで発表する高校生たち。鹿兒島市のかごしま県民交流センター

### 高校生探究コンに240人参加

地域活性化や環境問題といったテーマで鹿兒島県内の高校生が探究学習の成果を発表するコンテストが18日、鹿兒島市のかごしま県民交流センターで開かれた。19校約240人が参加した。19校約240人が参加した。スライド、ポスターの2部門に分かれ、思考力や表現力を競った。

ポスター発表は18校56点。鹿兒島中央高2年の吉山みなえさんら3人は、鮮魚店で捨てられるうろこや内臓の肥料化を研究した。うろこを焼いて灰に

し、レンゲソウなどに施肥。うろこは成長を促したが、同様に加工した皮と内臓はカビが発生し、逆に抑制した。吉山さんは「身近なテーマを掘り下げる探究は面白い」と目を輝かせた。

出水高2年の崎元柊央里さんは「行きたくなる図書館づくり」を提案した。温泉に併設したり、武家屋敷をリノベーションしたりするアイデアを紹介。「本を借りる場から、居心地の良いくつろげる場へ」と訴えた。戦争遺跡の活用（古仁屋高）や、霧島市の救急医療の課題（国分高）についての発表もあった。

教育関係者のほか、大学研究者や企業団体も審査。SDGs products（鹿兒島市）の中島寛之代表は「学びの内容は進化している。今後は伝える技術を磨いてほしい」と評価した。ポスター発表では生徒間投票もあった。

(中原克巳)

スライド発表部門の審査結果は次の通り（ポスター発表部門は11面）。  
社会科学分野最優秀賞 大島「3F Projectで外国人観光客に優しい町づくり」  
自然科学分野最優秀賞 国分「海中のリン酸濃度測定器の開発」

◆第4回高校生探究コンテスト・ポスター発表部門 ナイスデリバリー賞 鹿兒島中央「印象と文字のデザイン」、串木野「え！なくなるの？いちき串木野市の伝統文化」、屋久島「岳参りのこれまでとこれから」▽グッドデータコレクション賞 錦江湾「ヒット曲の特徴を探れ」  
「建物に巣をつくるシヨロウケ」  
「毛に種内競争はあるのか？」  
「ギンボシザトウムシはいかにして脚を自切するのか？」  
▽社会とコラボレーション賞 国分「霧島市の大逆転型コミュニティスクールの創出」  
串木野、頼娃「お茶農家さんのお悩み解決！『どっちゃ茶』」  
▽かごしまイグノール賞 松陽「人々がハマルゲームってどんなもの？」  
伊集院「伊校産業革命」  
甲南「ドミノ倒しが最も速くなる間隔とブロックの大きさの関係」